

# 蔵王山安善寺

◆編集・発行人◆  
近藤真弘

T940-0052  
長岡市神田町1丁目4番10  
TEL.0258-32-2811

◆スタッフ◆  
小林国二・高橋 潔・屋代 健  
太田匡哉・山内芳次・近藤龍弘  
近藤マリ子・近藤久美子

印刷・株式会社中央印刷



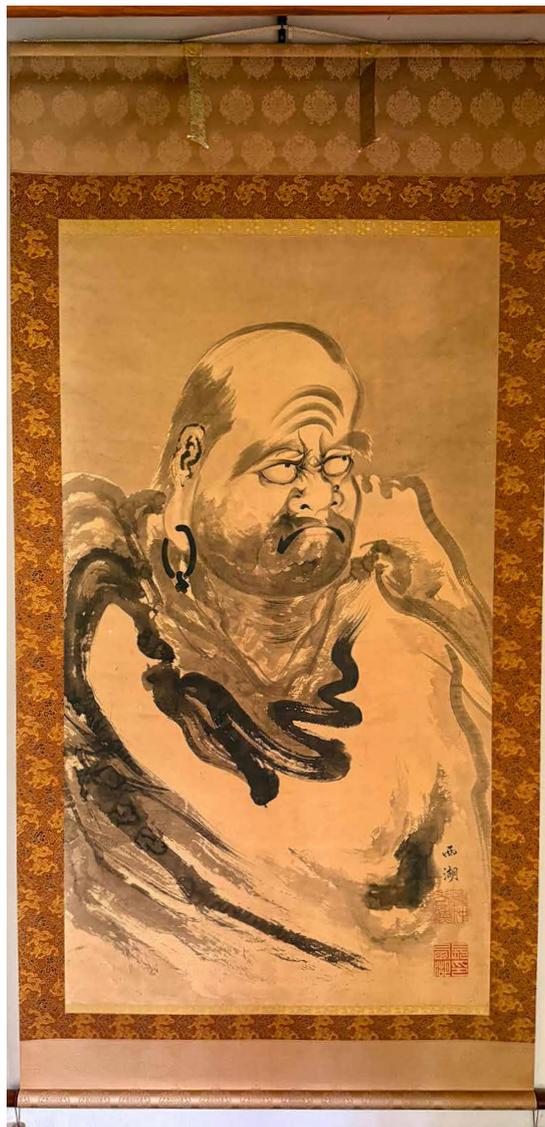
ホームページ



Instagram

## 『達磨大師の教え』

泰忍 弘



達磨大師 掛け軸

ご家族の皆さままでご覧下さい

今年も酷暑の夏を終え、間もなく彼岸と共に過ぎしやすい時節となります。  
今号、表紙の写真は「達磨大師」です。以前安善寺の蔵にあり、傷んだ表装を直したもので、迫力のある大幅です。達磨大師は一般的には「だるまさん」として親しまれ、

だるまの置物は必勝祈願などに使われ、日本人にはなじみのあるものです。高崎のだるま弁当もご存じの方が多いいのではないのでしょうか。長岡市では高龍神社のだるまも有名です。  
この「だるまさん」ですが、実在した人物で曹洞宗では正

式名称を「震旦初祖円覚大師菩提達磨大和尚」と呼びます。震旦とは現在の中国のこと、初祖とはインドから最初に禅を中国に伝えたことで、円覚大師とは高僧につける尊称です。要するに実在したインド人の禅僧ということ

達磨大師には伝説的な伝承も多く、その一つは一五〇歳まで生きたという説です。実際に一五〇歳まで生きたという説はないと思いますが、達磨大師の時代にインドから中国に渡った禅僧の逸話が混同されて達磨大師の人物像を作り上げたのではないかと、う説もあるそうです。  
達磨大師が唱えたといわれる有名な言語があります。それは「不立文字、教外別伝、直指人心、見性成佛」です。簡単に説明すると  
「不立文字」とは真理を会得するのに文字や言語を立てない、必要としない事。  
「教外別伝」とは仏教の神髄は心から心へと直接体験によつてのみ伝えられるという事。  
「直指人心」とは直ちに人心を指す。すなわち自己そのものに具わる仏性に気づきそ

れを指摘する事。  
「見性成佛」とは自己の仏性を見極め悟ることで仏となる事。  
以上が達磨大師の語として伝わるものです。近い言葉では皆さんも良くご存じの「以心伝心」で、師から弟子に心理が言葉を超えて伝わることを表します。  
近年AIが急激にその存在感を表してきました。AIとは人工知能のことで、大量のデータを学習してパターンを見つけ出したり、予測したり、文章作成をしたりと、大変便利なものですが、膨大な知識を持つAIですが、仏教という所の「智慧」を持つことは出来ません。智慧というのは知識を超え、物事の心理を見抜く力です。文字や言語ではなく自らの心の中で導き出すものです。  
人の言葉や教えを信じて行動することは決して悪いことではありません。ただそれに囚われすぎることなく、以心伝心、心を観て感じて通わせたい、真実にたどり着くことが大切ではないでしょうか。

# 〔続〕安善寺の歴史

## 堀直奇と長岡誕生の物語

連載 第二回

昌興寺住職

石田 哲彌

[1]城郭区域から建立されたばかりの昌福寺をはじめ由緒ある四郎丸の赤城神社、普賢寺（後の平瀧神社）や付近の農家を移転させ、立木なども全て伐採。こうして南は現在の長岡駅から、北は稽古町の長興寺にいたるまで、真つさらさらの広大な丘陵地が出現したのであった。長岡の歴史始まって以来の異様な風景の誕生といっても過言ではない。

これまで誰も目にしたこともない、長岡の歴史始まって以来の風景が展開されたのではないかと想像する。そうした中で、たった一軒、ぽつんと寺院が立っていた。建設総司令部の神田の安善寺である。

かくしてさつそく縄張りや町割りが開始されたのであった。当時の文書の「覚え」には、「一、五間口の屋敷 渡り町にてくだされ候」などとある。そして、区画や縄張りが終わったところから順次、寺院

などが建立されていったのではないかと推測される。

《注1》四郎丸の赤城神社も現在地に移転させられた。結果、鎌倉時代以来、樋口家が境内で行なってきた流鏝馬は実施できなくなってしまう。そこで北陸の霊場として繁栄していた蔵王権現において披露したところ好評を博し、そのまま現在にいたるまで毎年の行事として続いている。

《注2》この地には市民からは「チケン様」と親しまれた修験道寺院、普賢寺があった。正しくは宝積院普賢寺、別当は智慶院。これも慶長10年（1605）に現在地に移転させられた。後に牧野氏は「平瀧殿」と崇敬。明治の廃仏棄釈後は「平瀧神社」となった。

《白狐が縄張りを？》  
城の築城にあたり、奇妙な噂が立った。四郎丸の原に白狐が口に白く長い芋（麻の皮）を引きながら歩きまわっていたという。なんとそこには兜の形が描かれていた。そこで、総責任者の奥村九郎左衛門は白狐の教えのもとに長岡城の構えを「兜形（芋引形）」にしたという。

城の構えは最も城の根幹をなすもので、総責任者が最も心血を注いで考える最高機密である。それを白狐の示唆のもとに行なった？ そんな無責任な。きつとなにかある…。

農民にとって田畑が生活の根幹である。その田畑に測量だからといって、無断でズカズカと入り込まれては困る。そこで測量士はさまざまな形で妨害された。仕方なく彼らは夜間に、白い服、白い調縄で線香の灯を頼りに、測量を行なったのであった。その姿を「芋を引きながら歩きまわって見える白狐」と捉えられたのである。狐は「人を化かす」ことから人々に恐れられていたが、その狐が夜間うろついている…。

とはいえ、人々はとても恐ろしくて見に行けない。かくして「白狐の神威をもつて長岡城が造られた」話がまことしやかに語られたのであった。ところで、「今朝白は袈裟白のこと？」

[2]交通網の整備と港湾の決定。

《長岡の地名の発祥の地、長岡村。港湾「長岡渡し」を整備》  
城や城下町の建設には膨大な資材や物資を必要とする。その資材の搬入経路をどうするかが大きな問題となった。つまり陸路と河路（舟運）の整備を早急に迫られたのである。

長岡は関東（江戸）に向かう三国街道と関西（京・大阪）に向かう北国街道の分岐点である。その要の地が「千手」であり、いわばインターチェンジの役割をなしていた。問題はそこから北国街道につながるために、信濃川のどこから渡河をすればよいか。つまり「渡し場」をどの位置に設定するかであった。「渡し場」は併せて物資を積み降ろしする重要な「港」でもある。つまり「港（渡し場）」は、まず城に近く、

そして対岸の北国街道へも容易につながるという、二つの「要件」を満たさなければならぬ。「物流と交通の要」だったのである。

そしてようやく見出されたのが、現在の長生橋付近、「長岡村」の岸边であった。そこでさつそく慶長10年（1605）に、これまでの「蔵王堂渡し」から長岡村の「長岡渡し」に変更されたのであった。そして「渡し守与助」へ「蔵王堂の渡し船、長岡へ御引成さるるに付て…」と「長岡渡し」に変わったことを示す文書が発給されたのである。「長岡」の地名が使われた最初の文書である。なお、長岡村の河辺が港（渡し場）として最適地であったことは、その後、長生橋が架けられたことから明らかである。

[3]「長岡の地名」定まる

「大動脈（三国街道と北国街道）と海路を連結する」ことこそ、当時の長岡における最大の課題であった。特に長岡城の築城にあたっては必要不可欠の課題であった。それが、「長岡渡し」の完成によつ

て見事に解決。ようやく陸路と大河、信濃川の船運に結びついたのである。結果、「長岡渡し」は海運と陸運を結ぶ、物流の一大拠点となったのであった。

### 〈長岡の地名発見〉

この時に堀直奇は、港湾の適地の発見に加えて、「長岡村」という地名に出会った。いや、彼からすれば発見といっている。そして直奇には長岡城築城という大仕事を前にしての「幸先よき贈り物！」と狂喜したのであった。というのも、「長岡」といえば「長岡京」のことをいう。かつて堀直奇が住んだ大阪、いや関西においては憧れの地名であった。その名称が、図らずも彼の足元に存在していたのであった。彼が目指していた「日本の首都」にまさにふさわしい、いや、願ってもない地名が目の前に忽然として目の前に現われたのである。狂喜したわけである。

「長岡村」は、かつて上杉謙信の家来で、栃尾城の城将、長岡縫殿助の領地であった。近年は「長岡馬町新田」という枝村が開墾されている。地

名と人名は密接につながっていることは衆知の事実である。そこで彼は、さっそく新しく生まれた渡し場を「長岡渡し」と命名。そればかりではない。同時に「長岡」をこれまでの一地域の地名から「地域全体」の地名にし、「日本の首都」への第一歩を踏み出したのである。

今日の「長岡の地名」はこの時に誕生したのであった。〈長岡の役所、安善寺と「長岡」の地名について〉

慶長10年(1605)の広瀬郷の百姓に宛てた文書に「ことあらば長岡に申し出よ」とある。つまり「安善寺の役所に申し出よ」とのことである。この文書から、「長岡」の地名がすでに衆知されていたことを示す。以降、「長岡城」や「長岡藩」などと呼ばれ、長岡の地名が定着していったのであった。

これまで「長岡」の地名の発祥にはさまざまな説が唱えられてきた。「長い岡だから」「長岡京に似ている」。はたまた「当時、「岡」がつく名称がブームであった」といった説まで生まれていた。しかし、地名

が人名と深く結びついていることは歴史が示すところである。長岡にも、ちゃんとその足元に「長岡」という地名が存在していたのであった。堀直奇の時代からすでに420年。永年の問題がようやく解決できたといっている。

堀直奇がなによりも重要視していた「渡し場(港湾)」の探索が「長岡」の地名発見につながったのであるから歴史はおもしろい。

《注》「長岡渡し」の地は現在「草生津」「山田町」です。

長岡村の一角に油が湧出する場所を山田大膳が発見。そこに穴を掘り、滲み出た油を枯草に吸わせ、それを絞って採取。山田家はその油を船に乘せて(津出し)各地に売り裁き、財をなしたと言われている。そこで、油の出た地域を「草生津」と呼ぶようになったという。

次回(続) 安善寺の歴史連載第三回(第三回) 2ページで終了予定

次回(第三回) 2ページで終了予定



長岡市表町の平潟神社



平潟神社 本殿

# 安善寺様にご縁を頂いて

表千家われもこう 太田 藤絵



安善寺様に向かって雨の中静々と

今から2年前、令和5年10月15日、私が主宰している表千家茶道の会「われもこう」の京都の師匠である松本英樹宗匠より、越後長岡に全国の方々から来ていただき、茶会を開催したいとの希望を言われました。ご迷惑をおかけする事は、重々承知の上で日頃大変お世話になっていますが、安善寺様にお願いに参りました。松本英樹宗匠はじめ太田裕他複数名で安善寺様にお願いに参りましたところ、大変快く承知して頂き善は急げとばかりに部屋の

使い方、水屋、茶室の設え本堂の横を待合に使わせていただくことなど当日の段取りまでその場で決めていくことができました。全国からの参加者は、前日14日、越後宝珠会会長、長島久子様(故長島忠美氏夫人)のふるさと山古志を訪ね「錦鯉」山古志弁当、山古志での「山古志まんじゅう」紅屋重正製での一服のお茶。山古志の風景を堪能して頂きました。その後、小千谷ちぢみの里、錦鯉の里、長岡花火館と訪れて、夕食の懇談

会では、地元朝日酒造の「利き酒」で盛り上がりました。15日茶会当日の参加者は200人近くになりました。茶会は3つの会場で行われ、ホテルニューオータニ長岡「朝日の間」薄茶席(太田藤絵席主)、曹洞宗「安善寺」濃茶席(太田裕席主)、朝日酒造「松籟閣」濃茶席(松本宗匠席主)、「竜庵」点心席では越後名物「へぎそば」を楽しんでいただきました。

安善寺様のお席は大変喜ばれました。寺院をゆったりと使わせて頂いたゆとりのある茶室、なにより、お寺様のご息西神田の町内の子供たちの明るい、真摯なお運びの姿、お茶をこぼさない様にとの必死な姿が、お客様の笑顔、笑いを誘っ



席主が皆様をおもてなし

て、大いに大いに和んだ茶席となりました事をお伝えしたいと思えます。全国の茶友の方々からは、今でも長岡大会楽しかった、子供たちが可愛かったと、声をかけられます。安善寺様にはこの様に自由にお寺様を使わせて頂いた事に心から感謝申し上げます。御礼が遅くなり申し訳ありませんでした。私の心の中では、もう一度全国の方々に長岡へ遊びに来ていただき、良寛様の出雲崎町、日本海を訪ね、そしてまた安善寺様のお席にて皆様と再会の一服のお茶を楽しみたいと思っております。その節はどうぞよろしくお願ひいたします。安善寺様ご縁を頂きありがとうございます。ございました。



座れない方用に椅子席も

さて、話は少し変わりますが、長岡市茶道文化協会は設立から10年が経ちました。その間に文化講演会、リレー茶会、アオーレを会場にしての越後大茶会等、お茶を真ん中に据えた文化活動をしてきました。その流れの大きいなるうねりが現在、長岡市民に楽しんで頂いています「結の茶会」へと育ってきました。「茶と人、人と地域」元が始まった「結の茶会」。昔から心の拠り所であったお寺様での一服のお茶。様々なお寺様を訪ねて楽しんで頂きたいと思えます。勝手ながら、この場をお借りして長岡市茶道文化協会へのご理解と応援をお願い申し上げます。



悠真君と神田の子供たち

# 令和の米騒動

株式会社 杉本商店

取締役会長 杉本 隆一

先ずは令和の米騒動の原因について思うところを述べてみたいと思います。

令和五年に農林水産大臣に就任した坂本哲志大臣が令和四年産米が全国のスーパーの棚から米がなくなつたにも関わらず「米はあります、流通の段階で業者が抱え込んでいるか、ブローカーが抱え込んで値上がりを待っている為に市場に出回らないのです」などと再三発言。

米を取り扱うあらゆる業者の備蓄米の放出の要請にも関わらずに。拳句の果てに新米（五年産）が出回れば数量も価格も安定しますの発言。結果、六年産米が取れるまで数量が枯渇、価格は大暴騰！その後令和六年十一月に就任した江藤拓農林水産大臣も新米（六年産）が取ればと同様の発言。

しかしながら「六年産も平年作との農水省の発表」とは裏腹に生産現場では数量が春

以降はショートするとの情報で更に価格は暴騰した。

農水省のお役人の減反政策、現場調査も無く現場の声も無視して押し通して来た結果だと思えます。

流通業者を悪者扱いして自分達のミスはなかなか謝らない。かつてどこかの省庁でもあつたような気がしますが！

さて、令和七年産新米ですが、現在時点で生産者の仮払金が前年を大幅に上回る結果

に決まりました。（新潟日報 八月二十日発表参考）

その価格により新米の消費者価格は高止まりで現在の価格前後あたりで年末までは変わらないのではと思えます。気候の具合と作柄によっては値上がりも予想されるところです。

古い備蓄米の安いお米と、新米の高い銘柄米の二極化で当分の間、行きそうな気がします。

## 令和の米騒動

### 購入制限

### 米不足

### 備蓄米放出

### 米価高騰

## 安善寺よろず掲示板

### 『寺行事予定』

九月十八日

吒呬尼尊天秋季大祭典  
秋季彼岸会

九月二十日 入り歎仏法要

二十三日 中日施食法要

二十六日 明け歎仏法要  
慈雲塔供養

十二月一、三、五、七日

臘八攝心

八日 成道会

九日 断臂攝心

\*盂蘭盆会施食法要の経木塔婆をお持ちの方は彼岸中にお寺にお持ちください。

### 『大本山總持寺とフードバンクにお米を送る運動』

本年も大本山總持寺とフードバンクにお米を送る運動を実施致します。米価高騰のおり、御無理の無い中でご協力いただける方は十月二十五日までにお寺にお持ちいただくか、御連絡をいただければ取りに伺います。詳細はお尋ねください。

## 仏さまのおすそわけ 数珠つなぎフードパントリー

～誰ひとりとり残されない世の中に！お寺を提供の場へ～

食材や日用品の提供にご協力ください！！

\* 詳細はお寺にお尋ねください \*

協力：新潟県フードバンク連絡協議

## 安善寺 庭園型樹木葬 『翠緑の小径』

- お盆に樹木葬墓地で御法要
- お盆でもお申込みいただけます。お盆に合わせたお盆法要も承ります。
- 葬儀者がいないでも安心（永代供養墓）
- お盆の日のみならず、年中いつでもお盆法要が可能です。
- 一人3霊まで個別にお祀りします。
- 年間100名以内、お盆の日のみお盆法要が可能です。

【お問合せ】株式会社 放光  
フリーダイヤル **0120-811-112**

安善寺 樹木葬墓地ご案内ページ  
<https://anzenji-jyumokusou.com/>



第一二二号は令和八年一月一日(木)発刊予定です



キャットタワーがお気に入り



# 今年の夏も

## 暑かったにゃん!



安善寺には木々がたくさんあり、それらは鳥や虫たちの憩いの場となっています。毎年境内のあちらこちらで見られる蟬の穴は酷暑のせいも少なく、蟬たちの声がいっそもより小さい気がしました。

それでも毎晩蟬は羽化し網戸に突進してくるので、ビビが目をまん丸くして追っかけて騒ぎ。ある日には勝ち誇ったように口に蟬をくわえて家

の中へ：子供達の叫び声と蟬の鳴き声が部屋中に響きわたりカオスそのものでした。

そんな虫嫌いの子供達は夏休みに入ると羽が生えたように遊びに行き久美さんに捕まえられるまいと必死な様子でした。夏休みは休むもの！と言ってあげたいのですが今の子供達には許されず、受験勉強やら期末試験勉強やらと聞くだけで逃げたいものだらけ。

それでも長岡まつりや花火、お泊まり会などお友達との思い出づくりはたくさんできたようです。

久美さんも夏休みをもらい兵庫へ帰郷。今年は住職の強い希望であった滋賀県にある安土城跡へ行ったのですが、天守閣跡までの道のりは登山そのものだったようで、下山した後、久美さんは熱中症でダウン。彦根城も琵琶湖も見られず、滋賀をまったく楽しめなかったそうです。

それでも織田信長と同じ場所に立ってそして同じ景色を眺めていると思うとロマンを感じ、また違うお城へ行ってみたいと思う久美さんなのでした。私とビビは安善寺城のお姫様。時々攻めてくるモモやマロもなんのその、天守閣は二階と低いけれど難攻不落。いつまでも安泰に暮らすにゃん!

### 編集 雑感

今年もお盆がやってきました。年々暑くなって、暑くなる期間

が長い気がします。ゴールデンウィークを明けると暑くなる感覚があり、今年も気温を氣象庁のHPで調べてみました。因みに25℃以上は夏日、30℃以上は真夏日、35℃以上は猛暑日と言うそうです。

3月は、夏日1日、4月は、夏日3日、5月は、夏日8日、真夏日1日、6月は、夏日8日、真夏日10日、猛暑日2日、7月は、夏日0日、真夏日17日、猛暑日14日、8月は、夏日3日、真夏日22日、猛暑日5日でした。3月27日に初めて夏日、5

月21日に初めて真夏日、6月21日に初めて猛暑日となりました。また、今年は空梅雨だったので、6月は真夏日以上は12日、特に7月は、真夏日以上は全日、猛暑日以上が14日と物凄く事になりました。

40年程前の私の子供の頃は、猛暑日なんて言う言葉はありませんでしたし、35℃以上になる事は殆どありませんでした。それ以上に40℃に迫る日もあるくらいです。この時期になると頻繁に報道される熱中症になるのも無理ありません。

先日、NHKのクローズアップ現代でテーマが「猛暑で食卓に異変、私たちの食卓の未来は？」豚肉、野菜、果実などの生鮮食品の価格は、ここ10年で右肩上がりに上昇、そこには、猛暑が影響しているとの事。今迄取れてきた食物が取れなくなってくるとの事で数年後の食卓に変化が起きる可能性が高いとの事でした。

地球温暖化が急速に進んでいる事が、データから、また身近な食卓からでも実感出来ます。改めてCO<sub>2</sub>削減を日本はともかく、世界中で取り組んでいかないとイケません。省エネ、創エネ、畜エネを意識して…

(屋代 健)

### お便り原稿用紙

皆様からの原稿をお待ちしております。

原稿の例

- 思い出話／ご家族、ご先祖、お寺の思い出話など。
- 私に言わせて／家事や子育てのお話、身近な出来事など。
- 教えてください／仏事のしきたりや疑問（編集部や住職がお答えします）など。

FAX 0258-32-2870

〈原稿送付先〉メール info@anzenji-nagaoka.com

HP にも申込フォームがあります